
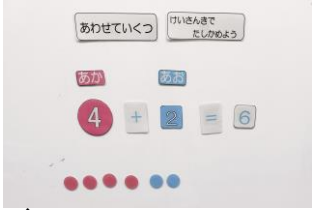
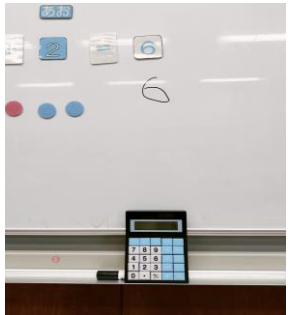



教材紹介カード		教科等	国語数学
教材名	あわせていくつ	部門	知的障害教育部門
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 数字カードを正確に選択できる。 カラーマグネットを使って一人で足し算ができる。 電卓を一人で操作できるようになる。 		
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>B)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>D)</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>C)</p>  </div>		
指導内容 ・ 指導方法	<p>A) 数字カードの数に合わせて赤青丸カードを貼る。 B) 赤青丸カードを横に並べ替えて、自分で合わせた数を数える。 C) 机に置いてある数字カードから数えた数を選びホワイトボードに貼る。 D) 数えた数が合っているか、計算機を操作し確かめる。計算した数をマーカーで書く。</p>		
特徴 ・ 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階状況に合わせて、問題の難易度を変えられる 対象生徒の課題に応じて2桁の計算などへ発展できる 学年はじめは、数字カードを枠に選び貼る課題からはじめ慣れてきた頃に計算へ進める、など状態に合わせて課題の提示に工夫する 		
材料・製作上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題を繰り返し取り組む中で、カードやマグネットの具体物进行操作する事を理解し、自信をもってホワイトボードに向かって課題に取り組めるようになった。 具体物の操作から発展させて、加法の理解が進んでいる生徒から計算機を取り入れると、全体が計算機に興味をもてた。 手本になる生徒から順番に、課題に取り組ませそれをモデルに6人の生徒がそれぞれの課題に取り組めるよう、課題に取り組む順番に配慮すると、全体の理解が進んだ。 		
製作年月日	令和 6年 7月	教材作成者	長洲 信枝